春の教員異動

徳永貝野中学校長勇退

倉俣小学校長

貝野中学校長

清津峡小学校長

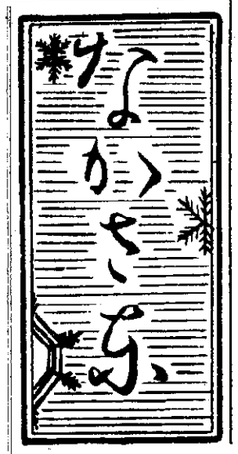
昭和三十七年度末、三十八年度はじめの教職員人事異動は、去る三月三十一日県教委から発表され、これにより、中里村でも徳永貝野中学校長の勇退をはじめ、転出二十八名、転入三十三名の多数にのぼる異動がおこなわれた。

今年の教職員異動は、県教委が年来の方針としてきた全員的な人事交流と、辺地平場の交流に意が注がれたとともに、高校生徒急増に対処して、小中学校教員の高校吸上げと、小中学校職員組織充実をはかるための定数増の実施などに重点が置かれたため、一部で教員不足を生じた面もあった。

村内各学校の人事異動は次のとおり。

【転出】

▽田沢小
根津　妙（越路町中野島小）
斎藤　汪（津南町秋成小）
沢海　譲二（十日町東下組小）
安藤　芳伸（三島郡塚山小）
▽高道山小
森山　仁吉（小千谷市岩沢小）
穴沢　郁夫（三条市旭小）
原田　仁司（新潟市割野小）
▽清津峡小
木村　浄（高井市上郷中）
斎藤　飯（糸魚市上草川小）
鷲津千枝子（栃尾市吹谷小）
多田和子（糸魚川市上草川小）
村山　茂（退職）
▽倉俣小
佐藤　剛（北蒲高浜小）
桑原金一通（退職）
山田　洋三（西蒲土千石小）
遠藤千鶴子（三島郡与板小）
山田　文江（直江津小泉小）
▽貝野小
石沢　タカ（津南町外丸小）
大島　康三（十日町市馬場小）
寺田　淳子（北蒲小松小）
▽田沢中
松木　弘（三条市大崎中）
吉川　修（長岡工業高校）
中村美智子（三島郡三島中）
川井　善英（退職）



毎月一回15日
定価 1部 5円
発行所
中里村公民館

現在人口

男	4,573
女	4,591
計	9,165
世帯数	1,679

退任の御挨拶

貝野前中学校長　徳永泰三

小生、今年三月をもって停年退職をし、第一線から退くことになりました。よく村の方が、今からやめるのは早いじゃないかと申される方が多いのですが、私は昨年の九月で満五十八才になりますので、私達の先輩がこの年令を守って退職しておりますので、私も先輩諸氏の例にならって退職することを決めておったのです。

思いば私の教員生活の中、一年三ヵ月を田沢小学校に、一年九ヵ月を田沢青年学校長として十六年を貝野中学校長として勤務し、教員生活の殆んど大半を中里地区において過ごせて感ぎましたことは、私の一生を通じて忘れることの出来ない思い出の場所として、心に深く刻まれておることと思います。尚、有難く感じますことは、この長い間を大過なく、しかも健康で毎日を楽しく勤務することが出来ましたことで、これは偏に村当局、教育委員会、学校の職員方、PTAの方々、地域社会の御支援と御鞭撻の賜でありまして、ここに紙上を通じて厚く御礼申上げる次第です。

去る四月一日は、私の退職発表と共に貝野地区学区民一同による歓送会をお開き下さいまして、皆様の御厚志による感謝状記念品をいただき身に余る光栄と只々感謝の外なく、私の心境は「有難かった、自分は幸せであった」という気持で一杯でした。帰宅すると家の子供達が、感謝状を座敷に掲げ、これは教員生活の卒業証書と同様なのだからといわれ、皆様の御厚意と最後の土地を忘れぬようにとの心づかいからと思っております。今後は家庭に入って読書等の生活が続きますが、いつか時期が来たら何かの仕事を通して市に御奉公致したいと念願しております。

尚家庭に入りますと学校生活と変わって不規則の生活になり易いかと思いますので、皆様のお言葉の通り充分健康に留意していきたいものと念じております。長く御世話になった皆様に対し、厚く感謝申上げると共に御健康と御多幸をお祈りして御挨拶にかえさせていただきます。

（在十日町市神明町）

西原　光亨（〃）
▽倉俣小
池田　義正（柏崎鯖石中）
高橋　憲治（津南町宮之原小）
田中久美子（新採用）
宮沢　忠寿（新採用）
▽貝野小
江村　悦子（津南町外久小）
小池　芳子（新採用）
岡村　芳美（新採用）
▽田沢中
松沢　欣一（三島越路中）
後藤　真江（西頸市振中）
小林　徹夫（新採用）
倉田　一子（新採用）
桃沢　勝支（新採用）
関根　隆松（新採用）
▽貝野中
今成　洸注（南魚石打中）
南雲　治彦（新採用）
永井文一（南蒲中之島北中）
▽貝野中
徳永　泰三（退職）
寺島　寿一（十日町実業高校）
岩崎　玲子（東頸城牧中）
〔転入〕
▽田沢小
白倉　泉（津南町下船渡小）
有本　玲子（新採用）
貝沢　保子（〃）
▽高道山小
本間正二郎（新潟南万代小）
高橋　博子（新採用）
井ノ川信一（〃）
上原　徹江（〃）
▽清津峡小
吉田　大吉（白根市白井中）
犬飼智恵子（新採用）
山田　達雄（〃）
上原　健（〃）

スクールバス車掌募集!!

中里村教育委員会では、次により、スクールバスの車掌を募集しています。詳細は教育委員会へお問合せ下さい。

記

一、募集人員　一名
一、学歴　性別不問

貝野診療所開かる

医師がなくて地域の医療体制に不便を生じていた貝野地区に、このほど中里村貝野診療所が支所開かれ去る四月十五日、柴田定一医師をむかえ開所式並びに着任式がおこなわれました。柴田先生は、香川県の生れで大阪高医専を卒業され、医学博士の学位をもっておられるりっぱな先生です。なお、診療は日曜、祭日を除き毎日行なっています。往診にも応ずることになっています。

なかさと文芸

中里俳句会四月投句

春雪解水瀬鳴りは嘶か信濃川　桂仙

微笑みて今朝淡雪の綿帽子
苗場嶺帽帰れどもとはの雪
金色に塗られて悲し涅槃像
日だまりの寸土に座ぜし老と犬

泉芳翁の逝去を悼む

桂山

俳人山本泉芳翁の逝去を悼むものである。翁は齢米寿に近く生き、俳句を友として、格調高い作品をたくさん世に残して逝った。今や死に直面して、静かに辞世の句をよみ、自づから筆を執って短冊にしたため、大往生なされた由ときく。その翁は今はなくとも、その作品は永遠に残り、その歩いたあしあとは消えない。

辞世句　泉芳

死出の山東風の明小鳥ぎく
朝日敵る雀ち我稚と敵る

逐鹿戦自社共何れに重配が
招魂祭遺族の涙袖濡らす

☆詩

貝野中三B　阿部道雄

山より水に

「君はどこから来たんだい」
「ぼくかい。ぼくは苗場からさ。君は」
「ぼくは、ほらずっそこのあの山さ。」
あっちこっちの山から集った水は、
人間や他の動物から、
邪魔されることのない
深い谷底を流れていた。
ふざけ半分の谷底生活も、
すぐ前に鷹状地があった。
そこで支流となって分かれると
今まで、めったに見ることの出来なかった、でっかい目の球もすぐそこに見え、
屋は暖い光につつまれ、
夜は寒いやみにつつまれた。
地の神に吸いとられ
地下深く暗い道に入った友もあった。
木の神に吸いとられたものもあった。
しかし、いつかは光につつまれるために、
表に出るはずであった。
そして生みの親である空の神に吸いよせられ、
何の心配もない、しあわせな、
世界に入るだろう。

貝野中三B　村山シゲノ

労働の中の手

一
ふしくれだらけの
鉄のようにかたい
真黒い父の手
でも、この手で
ハンマーをにぎり
くぎを打つ
労働の中の手
ごつごつの父の手

二
クリームもぬることなく
赤ぎれできたない手
でも、この手は
労働の中で生きている
そして仕事をするときの
父の手は星のごとく
輝きをはなっている

三
父の手、この手は
一家の大黒柱
この手がたおれると
たちまち一家は苦しくなる
大事な父の手
あらしがこようと
風が吹こうと
ガンとしている
がんじょうぶな父の手

四、
ふしくれだらけの
鉄のようにかたい
真黒い父の手も
時には　あたたかく
ぬくもりのある手にかわる

五
今日もまたあの父の手は
右に左に働いている
労働の中に生きる
がんじょうぶな手
ホラ!!　今も聞こえる
ハンマーでくぎを打つ音と
鼻歌が……。

槌の音

めいわくなこと

○つとめから帰宅してみたら、床の間に紙包みが置かれてあったので、家内に「これはなんだい」ときいてみた。近所の病気全快祝いだとの返事に、私はその人のために全快をよろこぶさきに、つまらぬことをするなあとおもった。

○もともと病気見舞という行為は、人の難儀を親戚や知己がお互いに気持ちの上で分けあうことなのである。お互いムリして見舞いするようでは意味をなさない。さっやかな見舞いに、こんどはこっちが恐縮するようなお返しをされたんじゃ、見舞や全快祝の意味がなくなる。

○人間の常識というものは、世の中の進歩とはいっしょにすすまないものなのか。おらたも共感を覚えさせられる身近の問題であろう。

それは、昔は湯殿というものは家の一番陰い処にあって水道もなく、狭いので、どこの家でも湯槽の中で洗う習慣がついている。どの程度にお湯が汚れたか見えないのでよかったが、新しい湯殿になったら、一人一人入っても垢がうようよしてきたならしくてしようがない。

家の者は湯槽の外で洗うからよいが、よそからの湯入りには困る。いち〜外で洗ってくれとも言いかねる。明るい湯槽に入るときは、外で流して自分の垢を他人に見られないようにしなければ、とんだ処で恥をかくなあーと言うことであった。

（芳丘生）

雑感

風呂場を改造した人が、こんな言葉を洩らしたのを聞いてなるほどなあーと感じたが、どなあるのかもう一度考えてみたい。親戚や知己の喜びや悲しみを、こころから分かちあうことの表現（行為）だとすれば、それはなによりも誠実がこもるということが大切なのであって、品物やその行為自体に意味があるのではないとおもう。贈られた方も、心からありがたいと思われるものであればよい。過ぎたるは及ばざるにしかず。

（K・T生）

公民館よりお願い

中里村公民館に電話される方は、二三〇番（役場）にかけて公民館を呼び出して下さい。

後記

▼今年は選挙の当り年。四月県議会議員選挙、七月には農業委員、十一月には村議会議員。挙が行なわれる予定になっています。選挙や投票は民主政治のはじめであり、これが手軽るに考えられたり、公明に行なわれなかったりしては、民主政治は確立されません。選挙違反は民主々義にとって、最も重い罪悪です。

▼このような認識をもつためにも、ふだんから政治に関心をもちしっかりした考え方をもつ必要があ[illegible]

一人一人が責任を[illegible]ことを実現しますから、あ[illegible]一人一人が責任を[illegible]ことです。

▼選挙のときだけでなく、もっと政治のことを勉強していきたいものです。

今年のお天気

稲作期間中に低温の心配

今年の一月中の平均気圧は、東京で一〇〇四ミリバールを示し、平年に比べて十二ミリバールも低く、観測開始以来の最低値となった。これは十万年に一度という珍らしいことである。

さて二月以後も程度は弱まったとはいえ、この異常の形は続いている。気圧の分布はほとんど変っていないし、わが国附近の気温も西日本が低く、関東地方はやゝ低め、北日本は高いという傾向が続いている。このような結果から見ると、今年はまだこれからも異常な天候の現われる可能性も考えられる。そこで対策として、北日本の稲作では、危険の分散を考えて、作付けにあたり、次のことに留意してほしい。

❶早中晩の適正な組合せを考えること。（同品種を多く作らないよう作付計画をたてる）

❷窒素質肥料の過多を避けて燐酸質肥料、加里質肥料の適当な施肥を考えること。

農地法の話 (5)

⑯潰れる農地に直接関係ある人はいいでしょうが、まわりの農地を耕作する者にとって、迷惑な場合もありますがこれについてはどうですか。

法律のうえではどうこうしなければならないという定めはありません。しかし、知事が渡すことを許可しようとするときはまわりの耕作に影響があるかを調査し、悪い影響があると思われるときは、その解決方法を尚業（これとあわせて行なう林業等を含む）及び附帯事業に限ら許可しません。もしそれでも被害などがあった場合は、渡した人に被害を受けた人から直接交渉して補償などを要求することができます。

⑰農業生産法人とはどんなものですか。又その法人にはどんなものがありますか。

農業生産法人は、農事組合法人、合名会社、合資会社又は有限会社であって、次の六つの要件をみたすものでなければなりません。❶その法人の事業が農業（これとあわせて行なう林業を含む）及び附帯事業に限られること。❷その法人の構成員は、すべてその法人に農地等を出資、売渡し、貸付けなどの形で提供した個人か、あるいはその法人の事業に、常時従事する個人であること。❸その法人の経営面積のうち構成員以外の者から借り受けている小作地等の面積が、二分の一にみたないものであること。❹その法人の常時従事者である構成員が、議決権の過半数をもっていること。❺その法人の必要とする労働力のうち、構成員以外の者に依存する割合が二分の一以下であること。❻その法人の利益配当は従事分量配当、すなわち働いた分量に応じて配分するか、あるいは、年六分以内で出資配当をし、なお剰余がある場合に従事分量配当をするということが、主の保有限度をこえて貸し付けることができます。又、農業生産法人に対しては、個人と同様国有農地などを売り渡すこともできます。

こうした要件をそなえた農業生産法人には、農地の権利の取得を認め、常時従事者である構成員は、農業生産法人に対して創設地を貸し付け、あるいは、借り受けている小作地などを所有者の承諾をえて、転貸することができますし、その法人に貸し付ける小作地などは、在村地定数に定められていること。

簡易保険のおすすめ

簡易保険は、一口にいいますと国民の福祉の助けあいだといいます。人の一生にはいろいろな出来事がおこりますがそんなとき、先だつものはお金とよくいわれるように、大抵は金銭的な悩みが伴いがちです。そのような出来事は金銭に困らないほどの貯えができるまで待ってくれるとは限りません。そのような時、例えばある出来事にあった人が五十万円のお金を必要とされた場合、それを自分だけであらかじめ蓄えておくことはなかなか出来ないものです。それを村民九千人の人で出し合うことになると一人六十円でいいわけです。そこで前以ってその金額を集めて積みたてて同じような出来事にあった人に差上げるという方法、これが保険の考え方でこれを人の生死についてはあてはめたのが簡易保険なのです。人の生死は統計学の進歩によって傾向がわかっていますのでそれをもとにして保険金と保険料がきめられるわけです。億かな保険料を掛けておけば、安心していられる仕組みが簡易保険です。

現在簡易保険もいろいろな種類があり、加入者の目的もさまざまですが、もともとは「万一の場合に保険金がある」という、自分や家族の安心感を得ることが根本の目的です。これが普通の貯蓄方法との相違点です。

◎積立金の運用

加入者の皆様が毎月郵便局に払込まれる保険料は積りもって一兆円にも達する莫大な金額になっています。この金はやがて皆様のお手許に保険金や配当金として返されるものですがそれまでの間、各方面に運用されて世の中のために利用されています。これは利息などの収入をあげて加入者の負担を軽くする目的をもつとともに、皆様の身近かな公共事業や公共施設の資金となることによって日本経済発展に大きな役割を果しているわけです。この資金は主に都道府県市町村や、農林漁業、中小企業、住宅、国民金融公庫、住宅公団、その他を通じて学校、住宅、病院、橋となって、色様の生活と直接結びつくわけです。また災害などの応急復旧工事についてはすべて迅速な貸付を行なってお役に立っています。

現在、中里村で融資を受けている金額は千三百六十万円で倉俣診療所、貝野中学校、倉俣中学校、田沢中学校や、簡易水道の建設資金として使われています。

このように皆様方の簡易保険の郵便年金に加入なさることは家庭の生活安定と将来の希望達成のために必要であると同時に、明るい村、住みよい村の建設のためにも大きく貢献することになるわけです。

（田沢郵便局）

商工会からお知らせ

このたび、県内の中小企業の振興を図るため長期の安定資金として、第四銀行よりの貸付制度が設けられましたので、借入希望者は次の事項に従いお申込み願います。

◎対象者

原則として一年以上その地に在住し、税金の延滞納（特別事情のない限り）のないものとする。県の地方産業育成資金の利用者は原則としてこの対象より除外される。

◎金額

一件二〇万円以内

○使途

運転設備を問わないが、産業に寄与するものであること。

◎金利

二銭六厘

◎貸付期間

据置期間を六ヵ月とし、これを含めて三年以内とする。

◎返済方法

分割、一括いずれでも可。

○無担保で保証人二名を付すること。保証協会の保証を付した場合は、保証料は銀行の負担とする。

◎申込場所

中里村商工会事務所（申込用紙は事務所にあります）

春の防犯運動

4月20日～5月10日

春の行楽シーズンになると、解放感から、ついふがゆるみがちで、事故や犯罪のおきやすい季節のようです。

警察署、防犯協会、青少協などでは、協力して次により春の防犯運動を展開することになりました。みんなが明るくたのしい春を過せるよう村民の皆様のご協力をお願いしております。

▽期間　四月二十日から五月十日まで

▽運動の重点

イ盗犯の防止

ロ小暴力事犯の排除

ハ少年の非行化防止

▽実施要領

イ警告的広報を活発に行なう

ロ特別警戒の実施

ハ警察官の外勤活動強化

役場の人事異動

富井企画課長ら勇退

中里村役場では退職による欠員補充のため、次のような人事異動が行なわれた。

【退職者】（三月三十一日付）

富井　喜重（企画課）
井ノ川友一（企画課）
樋口　より（税務課）
阿部　ミヨ（保育所）
村山　正光（行政課）

【新規採用者】（四月一日付）

藤田　勇平（産業建設課）
村山　茂徳（〃）
樋口　潤子（〃）
吉梁　克之（行政課）
樋口　寿男（税務課）
小柳キミイ（〃）
羽鳥　勝枝（保育所）

富井、井ノ川さん ご苦労さまでした

通称、役場のヒゲ（いまはおとしたが……）あるいは芳丘のとうさんで村民に親しまれてきた富井企画課長さんが、後進に道をゆずると只一言残し、淡々として役場を去った。昭和九年に役場に入ったというから、あしかけ三十年の勤めであった。ほんとにながいあいだご苦労様でした。あの忍しかった第二次世界大戦前後の多事多難な時期を役場の中堅として乗り越えてこられ、中部大同合併をめざす新しい村づくりには、縁の下の力となって東奔西走、役場のことや選挙のことでワカラナイことやメンドウなことは富井さんにきけといわれ、地方自治の生字引きだった。天性の美声は飲むほどに酔うほどにますます冴え、万堂の人前でも朗々とうたう。郷土民謡天神ばやしは無形文化財の貴重さをもつ。富井さんにまつわるエピソードは枚挙にいとまがないが、あの人なつこい世話好きな富井さんも、勇退後は晴耕雨読の住境に入ってといわれるが、まだまだ元気。どうかこれからも地域にあっていままでの経験を生かして、村づくりの啓蒙にご健斗を期待したい。健康に気をつけて。

◇――◇

井ノ川さんというよりも、小杉やさんで村民からも、役場内でもよばれ、それにジサとくっけて言われてからも随分ながいまだ五十二才の働きざかりだが前厚生係長の井ノ川友一さんも富井さんといっしょに勇退された。昭和十八年、当時の国民健康保険組合の職員を振り出しに役場に勤め、終戦前に海軍に応召され、二年間戦後生活を経験し、再び役場に入り、二十年一ヵ月のながいあいだ、住民福祉の仕事にあたってこられ、最近は「いいがないいがな」と人生を達観し、かつまた「相手の身になってなにごとも……」といかにも民生社会福祉の仕事一すじに生きてこられた人だけに小杉やさんの一言一言には訓えられることが多かった。

相談ごとがあれば夜昼いとわずあのスバラシイ自家用車でかけつけ相談にのってくれた。だれでも嫌がる隔離病舎の糞尿を一人で汲とったり、身寄りのない浮浪者を自分の家で世話してやったり、そのほか消防団の仕事にも功績が大きい。酒を無類に愛し涙を交しつゝぽつりぽつりと語る言葉には哲学があるいつどころからの病みつきゝなのか自動車いじりがメシより好だという井ノ川さん。勇退後はもっぱらドライバーでのび～と過したいという。ます～ご健康に気をつけて家に入られても村のために、人のためにご活躍を期待しています。

きようから一年生 小学生は減る

村内小中学校の入学式は、去る四月四日一せいに行なわれました。小雪で雪消えの早い校庭では、真新しい服に身をつつんだ可愛らしい新一年生たちが、元気よくとびまわっています。山の中にも春が駆足でやってきたようです。

なお、今年の小学一年生は村中で百二十五名、いつもの年にくらべてかなり減ってきております。ひと頃さわがれたスシづめ学級も、いまでは中学校や高校へうつってきたようです。

【写真は田沢小学校にて】

成人式は 五月三日

公民館では、冬の間出稼ぎなどで村にいない人が多いため、延ばしていた中里村の成人式を次のような計画で行なうことになりました。該当者にはあらためて通知しますが、おおぜい参加されますようお待ちしています。

◎期日　五月三日午前十時

◎場所　田沢小学校

◎行事　式典、講演、記念撮影、レクリエーション

なお、今年の成人式該当者は昭和十七年一月より十二月末日までに生まれた方です。万一通知洩れがありましたら公民館宛ご連絡下さい。

人口移動調査について

郷土の発展の基礎である常住人口が、近年目立って県外に移動していますが、この実態調査は、県や市町村の行政施策の計画をたてるなどのため、資料として重要ですので、四月一日以降、転出者については移動証明の交付を受けるとき、転入者については移動証明を提出するとき、役場の窓口で次のような調査を行なうことになりましたので、ご協力お願いします。

転入者及び転出者の状況

イ性別及び年令

ロこれまでの住所又は転出先

ハ転入又は転出の理由及び年月日

ニ転入又は転出前後の勤先の産業の種類（行政課）

五月に各地区 敬老会

村内七十才以上の老令者に、永年社会への貢献に感謝し、お互いの親睦をはかり、ますます元気に長生きしてもらおうと、今年も次の日どりで地区ごとに敬老会を催す計画をすゝめております。さそいあわせておゝぜいお集り下さるようお待ちしております。

▽貝野地区　五月六日　慈眼寺

▽高道山地区　五月五日　高道山小学校

▽倉俣地区　五月十一日　倉俣小学校（田沢、清津峡は未定）

印鑑証明について

印鑑証明を受けようとする場合、本人がこられないときは、大切な印鑑ですから必ず成年者に委任状で頼んで下さい。

（行政課）

人生往来

◎誕生

子のなまえ	父の名	部落
服部まち子	伊勢松	小原
村山　安代	与惣治	田沢
小柳　秀香	利治	豊里
徳井　洋子	重雄	掘之内
服部　安武	安四郎	豊里
石沢　啓子	春一	如来寺
吉梁　茂美	道治	上山
高橋　智子	正夫	宮中
梶生ますみ	金吾	阿寺
滝沢リリ子	常二郎	田

◎死亡

	氏名	年令	住所
新婦	吉川　修	二六	山崎
新婦	樋口　寿子		山崎
新婦	上原　タケ	二八	山崎
新郎	樋口　義孝	二七	津南町
新婦	樋口　ミヨ		竹藤
新郎	久保田光正	三〇	津南町
新婦	原井　トシ	二三	市之滝沢